

内裏塚古墳(富津市)

右手に行き先表示が立っている/この左手に内裏塚古墳がある



正面が内裏塚古墳(前方後円墳)の後円部/左奥が前方部/東側から見たところ



右手に入って行く道がある



説明坂が立っていた/前方は東側からのアクセスで、登って行くと後円部墳頂に至るようだ/後程行ってみよう



5世紀中頃築造で二段築成の前方後円墳/内裏塚古墳群の中では最初に築造された古墳で、南関東地方最大の古墳と云う

内裏塚古墳 (国指定史跡)

飯野ふる里散歩道 6

内裏塚古墳群を代表する前方後円墳で南関東地方最大の古墳である。墳丘の主軸長百四十四メートル、後円部径八十メートル、前方部幅九十メートルを測り、墳丘の高さは後円部が十三メートル、前方部が十一・五メートルで、古墳群の中では最も高い墳丘となっている。墳丘は二段築成で、埴輪列がめぐり、盾形周溝の全長は百八十五メートルを測る。埴輪には円筒埴輪のほか、人物・家・きぬがさなどの形象埴輪がある。

埋葬施設は、後円部中央に存在する二基の竪穴式石室で、明治三十九年に柴田常恵・小熊吉蔵らによって発掘された。東側の甲石室(五・七メートル)からは二体の人骨とともに刀剣・鉄鍬・農具が、西側の乙石室(七・五メートル)からは銅鏡一・金銅製胡鍬金具一・鹿角製鳴鏑九のほか、刀剣・鉄鍬・農具が出土している。

築造年代は五世紀中頃(西暦四百五十年頃)で、大形前方後円墳築造の最盛期に当たり、当古墳の形態は大阪平野の履中陵古墳(三百六十メートル)に近似したものとなっている。被葬者は古代須恵国の首長と推定される。

なお後円部上にはかつて珠名姫神社が祀られていたが、大正四年、飯野神社に合祀された。今も墳丘上には江戸時代の嘉永年間に建立された「珠名家碑」が残されている。また内裏塚は親王塚とも呼ばれ、地元では昔から霊祭りを行ってきた。昭和四十一年六月、富津町長佐久間清氏は全国に先駆けて文化財審議会を発足させたのを機会に、伝統的な霊祭りを引継ぎ、「富津町古墳祭」として盛大に開催した。五月五日の子供の日を選び花火打上げ、珠名餅のもちなげ、「富津文化」の刊行を行った。古墳祭は今でも続いている。

平成十九年五月吉日

飯野地域活性化推進協議会

これは北西側に回って見たところで、左手が後円部、右手が前方部



ここは前方部の裾で、左手に説明坂が立っている/正面は西側からのアクセスで前方部墳頂に登れるようだ





後円部の2/3の高さまでは自然砂丘を利用して築造されていると云う/被葬者は須惠国造の系譜に連なる人物とされる

国指定史跡 内裏塚古墳

千葉県富津市二間塚字東内裏塚1980ほか
昭和40年(1965)4月27日 千葉県指定史跡
平成14年(2002)9月20日 国指定史跡

規 模:墳丘長144m・後円部径80m・前方部幅90m・後円部高13m・前方部高11.5m

盾形周溝を含めた全長185m

埋葬施設:竪穴式石室2基(後円部中央)

甲石室(東側)~長さ5.7m 乙石室(西側)~長さ7.5m

出土遺物:(甲石室)人骨2体分・直刀5・鉄剣2・小刀1・鎌1・角棒1・斧2・鉄鏡

(乙石室)鏡1・直刀5・鉄剣1・鉄鎧1・鉄鎌・金銅製胡録金具一式・斧2

骨製鳴鏑9

(その他)円筒埴輪・形象埴輪(人物・家・蓋)

出土品保管場所:国立歴史民俗博物館・富津市教育委員会・飯野神社

墳丘規模では千葉県下最大かつ南関東地方でも最大の前方後円墳である。築造時期は5世紀中頃と推定され、内裏塚古墳群の中では最初に築造された古墳である。墳丘形態は大阪府堺市百舌鳥古墳群の體中天皇陵(陵山古墳)に近似し、その約2/5の大きさである。当古墳の石室の発掘は、明治39年(1906)に柴田常恵・小籠吉蔵らによって行われ、その後大正4年(1915)には石室上部に石碑が建てられている。石碑の台座に使用されている石は石室天井石の一部と見られる。周溝部については昭和58年(1983)以降、数次にわたって調査が行われている。また平成19年(2007)の墳丘断面の調査で、後円部の約2/3の高さまでは自然砂丘を利用して築造されていることが明らかとなった。

石室は海岸で採取される凝灰質砂岩の自然石(磯石)を乱石積みにして壁面を構築していたと見られるが、発掘時の詳細な記録を欠いているため、不明点が多い。2基の石室のうち、西側の乙石室の方が規模も大きく、副葬品内容も優れていることから、中心となる埋葬施設であったと見られる。副葬品は鉄製武器と農具を主体としており、墳丘規模から見ればその内容は比較的簡素とも言える。副葬品のうち、金銅製胡録は朝鮮半島で製作された可能性がある。

当古墳の被葬者は5世紀に小糸川流域一帯を治めていた首長と考えられ、「国造本紀」などの文獻に記された須惠国造の系譜に連なる人物と見られる。

平成21年(2009)3月24日 富津市教育委員会



そこで左手を見たところ/盾形周溝が巡っていた雰囲気を感じられる



同じく右手を見たところ



これは南東側に回り、遠目に全景を見たところ/左手が前方部、右手が後円部



さて、東側のアクセスに戻り、後円部を目指そう



墳頂が見えて来た



ここが後円部墳頂



正面に石碑が、右手に説明板が立っている



内裏塚と記されている/これは大正4年(1915年)に造立されたものらしい/台座の石は竪穴式石室天井石の一部と云う



こちらは珠名娘子(たまなおとめ)の塚碑



珠名家碑(たまなちょうひ)と記されている



飯野ふる里散歩道

内裏塚古墳の墳丘に立つ「珠名塚碑」珠名とは一体誰なのでしょう。

日本最古の歌集万葉集の巻九、一七三八番歌に「上総末の珠名娘子を詠める歌一首」という長歌が在ります。

「しなが鳥 安房につきたる 梓弓 末の珠名は 胸別の 広き喜妹 腰細の すぐる娘子の
その姿の きらきらしきに 花のごと 咲みて立てれば 玉ほこの 道行く人は おのが行く 道
は行かすて 召ばなくに 門どに至りぬ さしならぶ 隣の君は あらがじめ おの妻離れて 乞
はなくに 鎧さへ奉る 人のみな かく迷へれば 容艶きに よりてそ妹は たわれてありける
とゆうのがそれです。この二間塚あたりに住んでいた一美女のために、西上総一帯が大騒ぎであ
つたことがよくわかります。

この歌の作者は、奈良朝中期に朝廷に仕えた役人で、万葉集第一の物語歌人といわれている高橋虫麻呂といわれ、中にもこの珠名娘子の歌は、その代表作といわれるものです。

とともに、この歌のもつもう一つの意義は、奈良朝時代の美女を知る、もつとも具体的な資料となつてゐることです。

それにしても奈良朝の典型的美人像が、富津市の一女性によって提供されていることは、考えただけでも愉快ではありませんか。

平成八年十一月吉日

飯野地域活性化推進協議会

これは後円部からくびれ部方向を見たところ



振り返って登って来た方向を見たところ/説明板が立っている



夢にみる香りただよう

内裏のさくら

県指定 内裏塚古墳（県下最大の前方後円塚）

【十年の歩み】

平成四年九月 富津市本庁舎、当飯野地区に完成を記念し、

地域の活性化を築くべく、地区内商工会員による飯野活性化協誕生となる。

平成五年

日本三大陣屋の随一である飯野陣屋及内裏塚を中心とする文化遺跡の研修
岬と緑と史跡のまち富津にふさわしい環境整備を誓い活動方針とする

平成六年

（地元では毎年五月五日内裏塚古墳祭を挙行している。）

平成七年

飯野ふる里さんぽ道を設定、内裏塚を起点として地区内三十二ヶ所を結ぶ
由来説明表示板設置（女坂登口、及頂上朱の玉名碑）

平成八年

地元能城ボランティアグループが加わり、全而下草刈り整備清掃
眺望を良くする間伐作業（北西方面、眼下に市街地展ける）

平成十年

同時に女坂より染井吉野さくら十本植栽

平成十一年

頂上で櫻観賞出来る様、南方面伐採、さんさんと太陽光線を導く

平成十二年

染井吉野さくら十五本植付、表坂に十五本植樹

平成十三年

染井吉野さくら三十本追植整備する

平成十四年吉日

飯野地域活性化推進協議会
二間塚共有地管理委員会

これは後円部からくびれ部を見たところ



そこで左手を見たところ



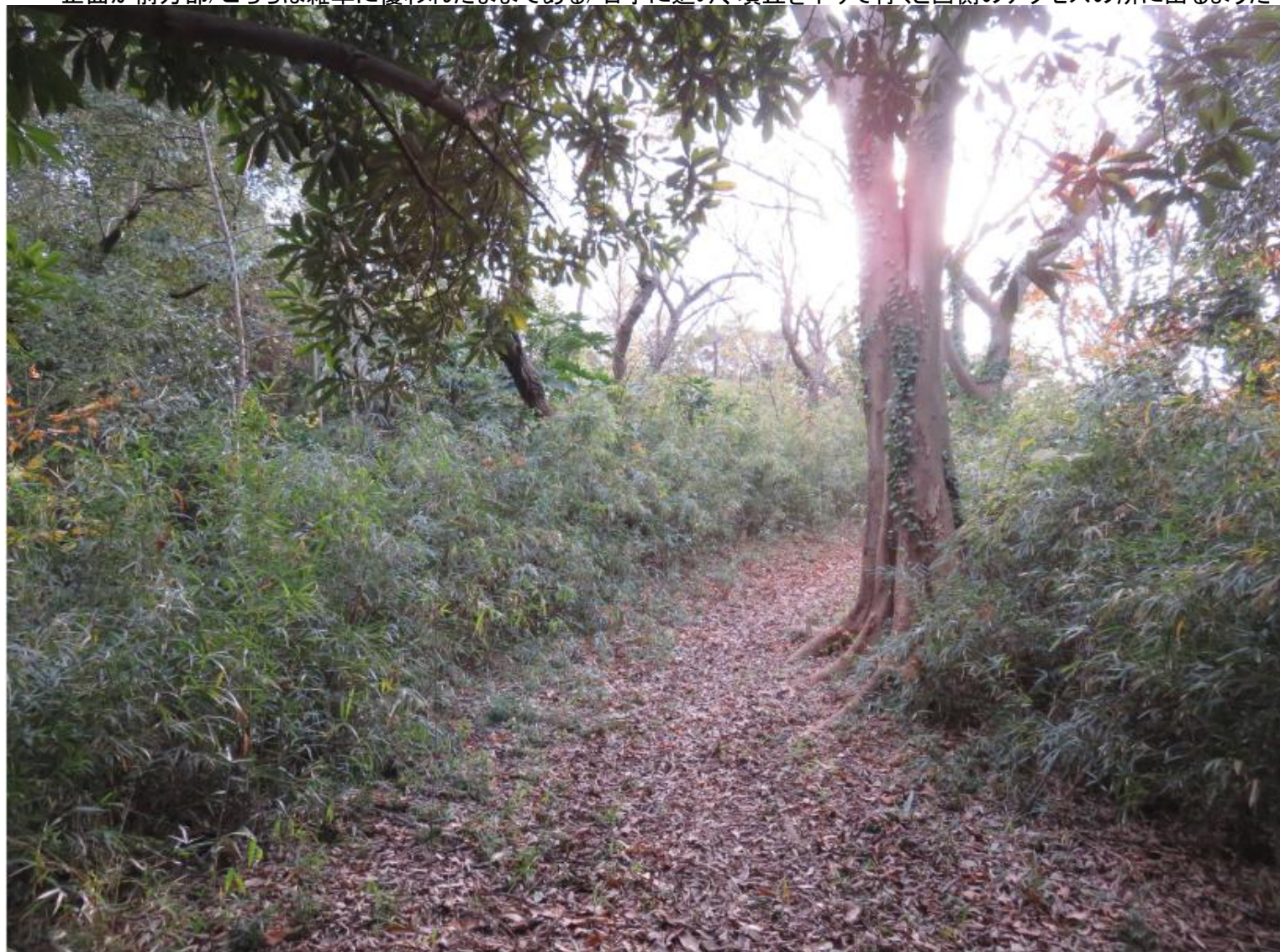
同じく右手を見たところ



これはくびれ部から前方部方向を見たところ



正面が前方部/こちらは雑草に覆われたままである/右手に進み、墳丘を下りて行くと西側のアクセスの所に出るようだ



振り返ってくびれ部とその先の後円部を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



これはくびれ部から後円部を見たところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huttu_dairi/

<http://www.haniwakan.com/kenkyu/boso/huttu.html>

<http://tokyo-bay.biz/pref-chiba/city-futtsu/ch0286/>

<http://www.eskfw.co.jp/okiraku/regions/dairizuka20120627/>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2014/03/31/120738>

http://2nd.geocities.jp/txinui/kantou_kofun6b.htm

<http://futtsukayoi.net/2013/03/22/661/>

<https://blog.goo.ne.jp/kurihira201/e/74aeb58cf5283e66bf9252e0a1f6a0cf>

<http://obito1.web.fc2.com/futtu.html>

<http://kofun.dosugoi.net/e1020835.html>



地図データ ©2018 Google, ZENRIN 日本 利用規約 フィードバックの送信